

ヒト由来のプロテインキナーゼ **Cy**アイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0624

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールボールエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

別名 PRKCG; プロテインキナーゼC、ガンマ; プロテインキナーゼCガンマ型; PKC-gamma; PKCC; PKCG; SCA14; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、250 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	mol wt 77-84 kDa by SDS-PAGE
純度	>95% (SDS-PAGE)
代謝経路	アフリカトリパノソーマ症、特定生物系; アフリカトリパノソーマ症、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、保存された生物系; アメーバ症、特定生物系; アメーバ症、保存された生物系; アンフェタミン依存症、特定生物系
機能	ATP結合; 金属イオン結合; スクレオチド結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼ活性; プロテインキナーゼ活性; 亜鉛イオン結合
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで1分間にヒストンH3に1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C